

令和5年2月 月例句会 会報・HP掲載句

兼題：雪催、蛤、当季雑詠

(投句順)

荒海に黒雲垂れて雪催	森 邦彦
陽射し待つ庭の立ち木や雪催	新谷 亮介
忘れ物探してるよな雪催	安井 正浩
雪催なじみの店の地酒かな	大仲 正敏
テーブルに蛤鍋と吟醸酒	城戸崎雅崇
蛤に醤油ひとさし炭赤く	石原 克己
蛤の歯ごたえうれしなつかしき	中山 知祐
寒林や碓氷の関の女道	佐藤 政百
夫婦椀小松菜鳥のすまし汁	川田 勝美
春はすぐ見慣れたけれど高尾山	眞田 宗興
	以上